

平成24年度 生涯学習推進協議会第1回会議 議事録

日 時：平成24年7月19日（木）
午後1時30分～3時30分
会 場：木更津市役所6階 会議室

出席者 工藤会長、佐久間副会長、石井委員、安藤委員、平野委員、池田委員、藤野委員、
宮崎委員、桂委員、（9名）

事務局 初谷教育長、石井教育部長、本多次長、根本参事兼生涯学習課長、原主幹、
佐々木副主幹、石田主査、企画課斉藤班長

1. 委嘱状交付式

辞令交付 初谷教育長より

（初谷教育長）

本日はお暑い中ご多忙にも関わらず、木更津市生涯学習推進協議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。引き続きの方もいらっしゃると思いますが今回初めての皆様におかれましてもよろしくお願いいいたします。

木更津市は早くから生涯学習都市宣言をして、様々な事業において生涯学習推進をしておりますが、広い立場から色々ご意見ご指導を賜りたいと思いますので、お願いを申し上げ挨拶といたします。

2. 教育委員会事務局職員、生涯学習推進協議会委員の自己紹介

（事務局）

生涯学習推進協議会設置要綱第6条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席があり、本日の会議は成立しておりますので、平成24年度木更津市生涯学習推進協議会第1回会議を開催します。委嘱替えをして初めての会議ですので、会長が決まるまで事務局で進行をします。

3. 議事

木更津市生涯学習推進協議会正副会長の選出について

（事務局）

生涯学習推進協議会設置要綱第5条により、本会の会長及び副会長は委員の互選による。となっておりますが、いかがですか。

特に意見がないようであれば、事務局から提案させていただきますがよろしいでしょうか？

異議なし

それではご提案させていただきます。会長には木更津工業高等専門学校長の工藤委員、副会長に木更津市体育協会の佐久間委員をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

異議なし

(事務局)

全員異議なしのため、工藤委員を会長に、佐久間委員に副会長をお願いいたします。それでは、工藤会長・佐久間副会長よりごあいさつをお願いいたします。

(工藤会長)

皆様の互選で会長になった工藤と申します。よろしく申し上げます。先日社会教育推進大会が袖ヶ浦でありました。千葉大の明石教授の講演もございました。あの大会は社会教育委員が主催されているわけですが、PTAの方も参加されていたと思います。君津地方の社会教育を明るくしよう、もっと元気にしようというメッセージのこもった話を頂きました。そういうこともありますけれども生涯学習の関係の皆様方に木更津市の町をより良いものにするように、この生涯学習推進協議会でも努めて行ければと思いますので、よろしく申し上げます。

(佐久間副会長)

これから会長を補佐しながらやっていきたいと思えます。委員の先生皆様のご協力をお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。生涯学習推進協議会設置要綱第6条により、会長に本会議の議長として今後の議事進行をお願いします。工藤会長よろしく申し上げます。

木更津市生涯学習事業について

(工藤会長)

これより進行を務めさせていただきます。資料については事前に委員の皆様を送られて承知していることと思えますがよろしいでしょうか。それを基に進めていきたいと思えます。重点施策をはじめとして生涯学習課が実施する事業の今後の方向性が書かれておりますので、委員の皆様のお知恵を頂き市政に反映させていきたいと思えますので、まずは事務局から概要及び補足説明をお願いします。

(事務局説明)

補足として、生涯学習バスの運行について説明

(工藤会長)

今事務局から説明がありましたが、まず重点目標からご意見を伺いたいと思います。

(池田委員)

初めてこの会議に出て、要領がつかめないので、重点目標の概要説明をお願いしたい。

(事務局)

重点目標の概要説明

(工藤会長)

今、重点目標内容について説明して頂きました。前年度と比べて変わった点がありますか。

(事務局)

小さい所で変わっているところはありますが、大筋では変わった点はありません。

(池田委員)

説明ありがとうございました。

(工藤会長)

大きく社会教育の推進・青少年の健全育成の推進ということでお話し頂きました。これは基本的なことですので、次に移って参りたいと思います。

生涯学習市民公開講座について平成23年度の要項・アンケート調査・平成24年度の講座について、7月21日から開始となっております。初めての委員さんもいらっしゃると思うのでこの資料でわからない点等あればお伺いしたいと思います。

(桂委員)

平成23年度の実績を簡単をお願いします。おそらくこれについては満杯、150名ぐらい来ているのではないかと思います。

(事務局)

概要説明

(桂委員)

年齢構成を伺いたい。どのぐらいの年齢がメインですか。アンケートにある60代が20人、70代以上が14人ということですか。回答者が45人として、そのうち

34人が60代以上ということで、複数回の方も35名ということは、この複数回の方もおおむね60代以上ということが読み取れるかと思いますが、そういうことでよろしいでしょうか。

(事務局)

良いと思います。

(石井委員)

年齢構成の話が出ましたけれども、何十代とか、狙いとしている年代はありますか。また、このアンケートをして、24年度検討の結果があるなら教えてください。

(事務局)

年齢のターゲットは絞っていませんが、社会教育の中心となる30代～50代に受講に来てもらいたい意向は持っています。ただ、なかなかその年齢層に伝わらないということで、今回は様々な大学の学生への呼びかけ、また高校の生徒に大学体験をすることも兼ねて投げかけをしております。また、アンケートの要望にあったということで、今年度の1回目は運動関係、3回目にもポップカルチャーと書いてありますが、この視点から社会的な学習をしたい人がいるのではないかということで、コミュニケーション学を取り入れました。6回目も市民生活の基礎として栄養学を取り入れています。アンケート結果を清和大にも見てもらい、テーマに沿った形で講師をお願いしているところです。

(工藤会長)

もう少し若い人にも受講してもらいたいとの教育委員会の考えということですが、3回目の日本のポップカルチャー、これは若い人向けの講座ですか？

(事務局)

参加年代のうち、アイドル名など60代ではわかりづらい部分はあるかと思いますが、まだ現時点では先生と打合せをしていないのでわかりませんが、マスメディアでは、ツイッター等新しい伝達情報の部分などがあるかと思いますが。

(桂委員)

23年度の実績を聞いて、少しがっかりしたんですが、例えば1講座毎に人員を把握して足りない部分は補充させる等の向上施策のようなことを行うとか、席が空いているのであれば、出来るだけなるべくいい講座でしょうから聞いて頂くようにしていただくとか。

(事務局)

今までは原則としてお断りしていましたが、今年度は1講座から受けられるということで募集をかけております。今年度は現時点で109名の申込があります。まだ2

日ありますので、120～130名の申込みをいただけるよう努力したいと思います。

(工藤会長)

改善は図られているということですね。それで、昨年度のアンケートを見ますと、知った方法が広報きさらづが42名、地域情報紙が14名、このあたりが多いようですが、1講座から受けられるということで7月21日・28日と来て、8月25日にある第3回があるわけですが、8月25日の直前で申込をかける予定はありますか。

(事務局)

他の種類の地域情報誌等・地方紙でも周知を図っていくものしたいと思います。また、ホームページについては既に掲載されている状況です。

(工藤会長)

今年は109人、まだ40人近く募集がかけられるということで、毎回呼びかけて頂き、テーマ毎に興味がある方に来てもらおうとよいと思います。他にはよろしいでしょうか。続いて生涯学習フェスティバルに入りたいと思います。

(事務局)

概要説明

(工藤会長)

昨年度の事業に参加された方はいますか？

(安藤委員)

今年は会場が変わって福社会館ということですね。例年参加させて頂いていますが、今までは市民体育館をPTAでお借りしてゲームをさせて頂いていました。色々なところで子どもを見ることが大事だとPTAでは考えています。今回も参加させて頂きたい。

(藤野委員)

木更津市文化協会でも生涯学習フェスティバルに参加しております。

(石井委員)

昨年の実績を見ると1万人近くありフェスティバルの名に相応しく、色々な活動が出来るのはよいと思うが、集めた事による駐車場の問題で、市民会館とは分けた方がいいという結論になったんですか？駐車場の問題が一番かということを確認したい。

(事務局)

もちろん駐車場の件もあります。昨年度は警察の前まで路上駐車が発生しました。また、実行委員会で準備を進めていく上で、市民会館とフェスティバル実行委員会と

のスタンスの違いがあり、別に行うことになったと聞いています。

(工藤会長)

21年度から合同、20年度は単独で6700人ということですが、21年度からの合同開催の相乗効果で8千人から9千人になったということですよ。それが単独に戻すということになると6千人に戻るということでよろしいでしょうか。

(石井委員)

私は駐車場だけが問題で単独に戻すと言うのであれば、検討する余地があるのではないかと思いましたが、他に何か問題があって単独に戻すと言うのなら、それはやむを得ないのかなと。その辺りをうかがいたい。

(事務局)

警察の方からは当日に再三警告を受け、これ以上はやりきれないと言われました。実行委員会に諮ったところ、賑やかなのはいいが安全性が確保できないでいいのかということになり、とりあえず1年は単独でやろうという話になりました。

(工藤会長)

私自身は市民会館と合同でやっていた2年しか知らないのですが、市民会館側も恐竜を呼んできたりして賑やかという感じはしましたが、あっちもこっちもと、端的に言うと目移りしやすいと思いました。単独で開催すると文化の展示とか公民館活動を披露するすとか、そういう催しをじっくりと見られる感じになる方が良いと思います。人数は減ってしまうかもしれませんが、じっくり見られる方は多いのではないかと思います。駐車場の問題の他にも質的なところで違ってくるのかなと感じます。

(石井委員)

ありがとうございました。

(桂委員)

市制70周年を前日に行い、翌日に単独で開催するということでしょうか。また、各地区で文化祭が開かれるかと思いますが、日程等の調整は出来ているのですか。

(事務局)

今回のフェスティバルは70周年という冠をつけますが、前日の記念式典とは別になります。また、公民館とは日程調整はすんでいます。

(桂委員)

それなら集まることを期待したいですね。

(工藤会長)

ではそういうことで、変更して開催していくということによろしいでしょうか？
次は生涯学習バスの運行状況ですが、先ほど審査基準の話が補足としてありましたが、何か他にご意見はありませんか？

(桂委員)

生涯学習バスは申込が非常に多いと思うのですが、増やすという計画も全くないでしょうから、審査基準を見てもみましたが先着順でもないですね。申込が殺到した場合は審査して決めているのですか。今の運行予定ほとんど満杯状態ですか。

(事務局)

公民館を含む市の事業を行うため、バスの空き状況はほとんどありません。3ヶ月前に申込の受付を行います、団体が重複しないように運行を承認しています。また先着順ではなく抽選を行います、その日に全て利用予定が埋まります。また夏期間中は市の少年自然の家キャンプ場までバス送迎を行うことを優先しており、空いている日は青少年団体・学童保育所からの申請も受け付けています。

(工藤会長)

運行については厳しい状況ですね。

(桂委員)

老朽化等がありますか。

(事務局)

平成20年に現在のバスを導入しています。

(工藤会長)

このバスは生涯学習・社会教育のためのバスですから、社会福祉団体だと使用できないが、公民館と共催ということで、市の事業としての利用となっているようですね。利用希望者が希望通りに乗ることが出来ないということもあるかもしれませんが、仕方のない部分もあるかと思えます。適宜改善を図り、多くの方が利用できるようにしていただきたいと思えます。

続いて、地域協働活動の推進について、企画課の斉藤班長から話があります。前回3月にご説明頂きました事について進捗状況等説明して頂きます。

(斉藤班長)

進捗状況について説明

(工藤会長)

モデル地区ということですが、将来的には全体の公民館に拡大する予定ですか。そ

の場合は補助金が各地区に行き渡るといことでしょうか。

(齊藤班長)

全地区に広げていくことを目的にしたいと思います。全地区に話し合いを持つ組織作りが出来、皆様のご協力が得られるのであれば、全地区に補助することも考えられます。区画整理が進んで今住宅が増えている地域では、これから自治会ですとか子ども会などを作る地域があるかと思ひます。行政側が一律にいつまでに地域内で話し合い組織を作ってくださいというわけにはいきません。その時の地域社会の実情にあった構成の進み方にもよるかと思ひます。

(工藤会長)

だいたい事業のイメージがつかめたかと思ひます。公民館を地域自治の拠点として有効に機能しているということですね。他には。

(齊藤班長)

地域協働まちづくり支援事業の仕組み及び補助状況説明

(池田委員)

本年度の申請は既に終わっているとのことですが、来年度に同じ団体が申請しても受けるのですか。

(齊藤班長)

同一団体の同一事業については3年間申請が出来るようになっています。4年目からは自立して継続的にやってもらうように3年までとしています。

(池田委員)

申請は一度申請したら3年間継続するのではなくて毎年申請して最大3年ということですね。

(齊藤班長)

市民を交えた選考会がありまして、申請する場合は毎年その選考会でプレゼンテーションをして頂き、選考会で平均点をもらえた場合採択する、ということなんです。

(工藤会長)

ご説明頂きありがとうございました。

それでは、時間もほぼ予定通りになりましたが、折角の機会なので皆様からも何か生涯学習施策のことについてご質問はございますか。

私の高専では、学生に、学校の勉強だけでなく社会の出来事を学んで、また地域活動に参加してもらおうということでボランティア活動を単位として認めています。学生には事前に履修登録してもらい、規定時間ボランティアを行うことで単位を認

定するんですけれども、例えば社会福祉施設でのボランティア活動、里山を守るための環境活動等の活動をしています。意欲が学生の中でも高まって、現在登録している学生は200人近くおります。担当教員4人で、学校外の団体と交渉してボランティアの場を確保・開拓しています。皆様方の社会教育・生涯学習活動の中で学生に手伝ってほしいというお話がありましたら声をかけて頂きたい、そして相互にメリットを享受していきたいと思います。では、本日の議事を終了させていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

今後とも本市の生涯学習活動推進のため、委員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。それでは平成24年度木更津市生涯学習課推進協議会第1回会議を終了いたします。どうもありがとうございました。

木更津市生涯学習推進協議会第1回定例会の議事について本議事録に相違ないことを認めます。

平成24年8月30日

木更津市生涯学習推進協議会会長

工藤敏夫